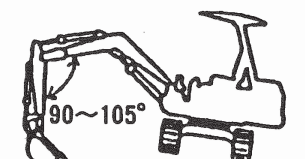
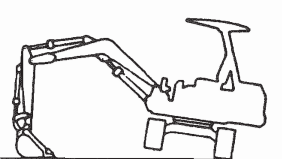
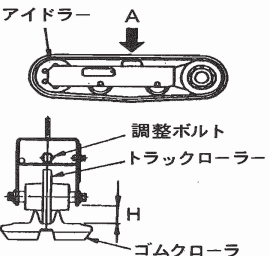
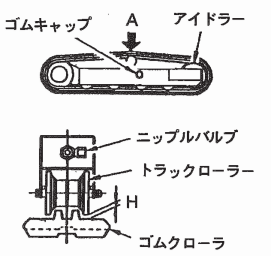
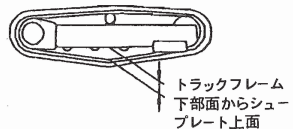
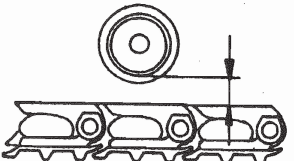
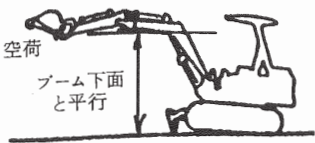
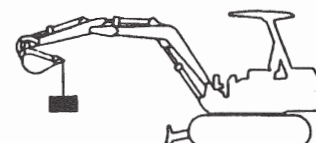
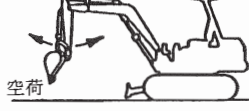
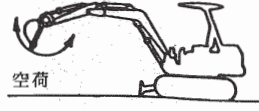


適用範囲		モデル名		B3-6A (B3Σ)	B4-6A (B4Σ)	B6-6A (B6Σ)	B7-5B (B7Σ)
		適用号機		62001～	56001～	62001～	59603～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度					
		ハイアイドル ローアイドル (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ (°C) (°C)	2590～2650 1125～1175 (60以上) (50～60)	2425～2475 1125～1175 (60以上) (50～60)	2500±25 1150±25 (60以上) (50～60)	2105～2155 1175～1225 (60以上) (50～60)
		弁すき間					
		吸気弁すき間 排気弁すき間	mm mm	0.2±0.05 0.2±0.05	0.2±0.05 0.2±0.05	0.2±0.05 0.2±0.05	0.15～0.25 0.15～0.25
		(測定条件)	(°C)	(常温)	(常温)	(常温)	(常温)
		圧縮圧力	MPa	3.16	3.4	3.4	3.4
		(エンジン油温) (回転速度)	kgf/cm ² (°C) (min ⁻¹)	31 (40～50) (250)	35 (40～50) (250)	35 (40～50) (250)	35 (40～50) (250)
燃料装置	燃料噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa	19.6～20.6	19.6～20.6	19.6～20.6	21.6～22.6	
		kgf/cm ²	200～210	200～210	200～210	220～230	
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	10～15	10～15	10～15	10～15	
	(測定位置・条件) (押え荷重)		駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)	
走行装置	走行性能	最高速度	S	12	14.6	18.6	16.5
		(測定方法・条件) (図面番号表示)		(図 No. 1-1)	(図 No. 1-1)	(図 No. 1-1)	(図 No. 1-1)
	履帯(クローラベルト)	ゴム 張り(たわみ量)	mm	8～13 クローラ フレーム中央	8～13 クローラ フレーム中央	20～25 クローラ フレーム中央	20～25 クローラ フレーム中央
		(測定方法・条件) (図面番号表示)		(図 No. 2-2)	(図 No. 2-2)	(図 No. 2-2)	(図 No. 2-2)
		鉄 張り(たわみ量)	mm	105～115 クローラ フレーム中央	105～115 クローラ フレーム中央	105～115 クローラ フレーム中央	150～160 クローラ フレーム中央
		(測定方法・条件) (図面番号表示)		(図 No. 2-3)	(図 No. 2-3)	(図 No. 2-3)	(図 No. 2-3)
		シ リンクピッチの伸び	mm	103	136.5	136.5	157
	(測定方法・条件)		1リンク	1リンク	1リンク	1リンク	
置	履板取付けボルト 締付けトルク	N・m kgf・m	147～196 15～20	147～196 15～20	147～196 15～20	220～270 22.5～26.5	
	(測定方法・条件)		—	—	—	—	

[illegible]

走行性能測定姿勢	本機姿勢  90~105° (1) 定格回転 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 場所：硬い平坦地 (4) 走行レバー：フルスロットル(履帯浮き側) (5) 片側の履帯を浮かせ、履帯の一枚所にマークを付け、走行レバーフルスロットル(履帯浮き側)で1回転以上空転後3回転の所要時間を測定する。 (図 No. 1-1)	本機姿勢  (1) エンジンフル (2) 作動油温：45~55℃ (3) 履帯を片側ずつ持上げて1回転空転後の5回転の空転所要時間を測定する。 (図 No. 1-2)
ゴム履帯の張り（たわみ量）測定方法	履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の△マークをトラックフレーム上部の中央位置になる状態でクローラフレーム下面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。 A：ゴムクローラ内周面の△マーク位置を示す  調整ボルト トラックローラー H ゴムクローラ (図 No. 2-1)	履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の△マーク及びM印位置を示す A：ゴムクローラ内周面の△マーク及びM印位置を示す  ゴムキャップ A アイドル ニップル/バルブ トラックローラー H ゴムクローラ (図 No. 2-2)
鉄履帯の張り（たわみ量）測定方法	履帯を浮かせ、トラックフレーム中央下部からシュブプレート上面とのすき間を測定する。  トラックフレーム 下部面からシュブプレート上面 (図 No. 2-3)	履帯を浮かせ、トラックローラ踏面とトラックリンク上面とのすき間を測定する。  (図 No. 2-4)

作業機自然降下量及び各シリンダの自然伸縮量測定姿勢	 空荷 ブーム下面と平行 (1) エンジン停止 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 上記の本機姿勢で60分間の各シリンダロッドの伸び量又は縮み量を測定する。 (4) ブレードの自然降下量は最大上げ位置より1時間のシリンダロッド縮み量を測定する。 (図 No. 3-1)	 (1) 上記の姿勢から各シリンダの伸び量、縮み量及びバケットティース先端の降下量を測定する。 (2) 水平・平坦地 (3) バケット：定格負荷 (4) レバー中立 (5) エンジン停止 (6) 作動油温：45~55℃ (7) セッティング直後に測定開始 (8) 5分毎に降下量を測定し、15分にて判定する。 (図 No. 3-2)
作業機速度測定姿勢	ブーム上げ  空荷 (1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 場所：平坦地 (図 No. 4-1)	アームシリンダ伸ばし及び縮め  空荷 (1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 場所：硬い平坦地 (図 No. 4-2)
	バケットシリンダ伸ばし及び縮め  空荷 (1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 場所：平坦地 (図 No. 4-3)	

ヤンマー

クレーン時の旋回速度測定

適用範囲		モデル名		B3-5	B3-5B	B3-6	B3-6A	B4-6
		適用号機		50501～	55001～	60501～	62001～	60501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	33.9	33.9	35	35	35

適用範囲		モデル名		B4-6A	B6-3	B6-3A	B6-5	B6-6
		適用号機		56001～	30501～	36001～	50501～	60501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	35	31	31	36	38

適用範囲		モデル名		B6-6A	B7-3	B7-5	B7-5A	B7-5B
		適用号機		62001～	30501～	50501～	50501～	59603～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	38	33	36	36	36

適用範囲		モデル名		VI020-3	VI027-3	VI027-3B	VI027-5	VI027-5B
		適用号機		30501～	30501～	35001～	50501～	53316～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	39	37	37	35	35

適用範囲		モデル名		VI030-3	VI030-3B	VI030-5	VI030-5B	VI030-6
		適用号機		30501～	35001～	50501～	53607～	60501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	32	32	35	35	48

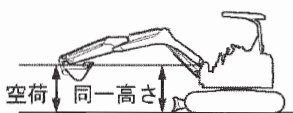
適用範囲		モデル名		VI035-3	VI035-3B	VI035-5	VI035-5B	VI035-6
		適用号機		30501～	35001～	35001～	57001～	60501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	34	34	34	34	52

適用範囲		モデル名		VI040-1	VI040-2	VI040-2A	VI040-3	VI040-5
		適用号機		10501～	20501～	25501～	30501～	50501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	37	35.5	35.5	35.5	31.5

適用範囲		モデル名		VI040-5B	VI050-1	VI050-2	VI050-2A	VI050-3
		適用号機		57001～	10501～	20501～	25501～	30501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	31.5	34	34	34	34

適用範囲		モデル名		VI050-5	VI050-5B	VI070	VI070-2	VI070-3
		適用号機		50501～	57001～	00705～	20501～	30501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	31.5	31.5	36	36	36

適用範囲		モデル名		VI070-3A	SV100-1			
		適用号機		36001～	10501～			
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	36	54			

検査条件	本機姿勢
	(1) エンジン定格回転 (2) 作動油温: 50～60℃ (3) 場所: 固い平坦地 (4) 空にて1回転空旋回後、5回転の所要時間  【図NO. 1】